



東福寺神社の神紋

東福寺神社だより

第7号 令和5年1月発行
発行 東福寺神社

〈問い合わせ先〉
■中組区総代 ■上庭区総代
■東区総代 ■上組区総代



南長野運動公園東側エリア拡張開発
地主神 **東福寺神社** の
存亡を
考えて

空から
こんにちは
28年の国体に向けて
新ラウンドボール場建設予定地
長野市市民新聞 (1/14) 29日(水) 1頁

令和4年11月29日/長野市民新聞より

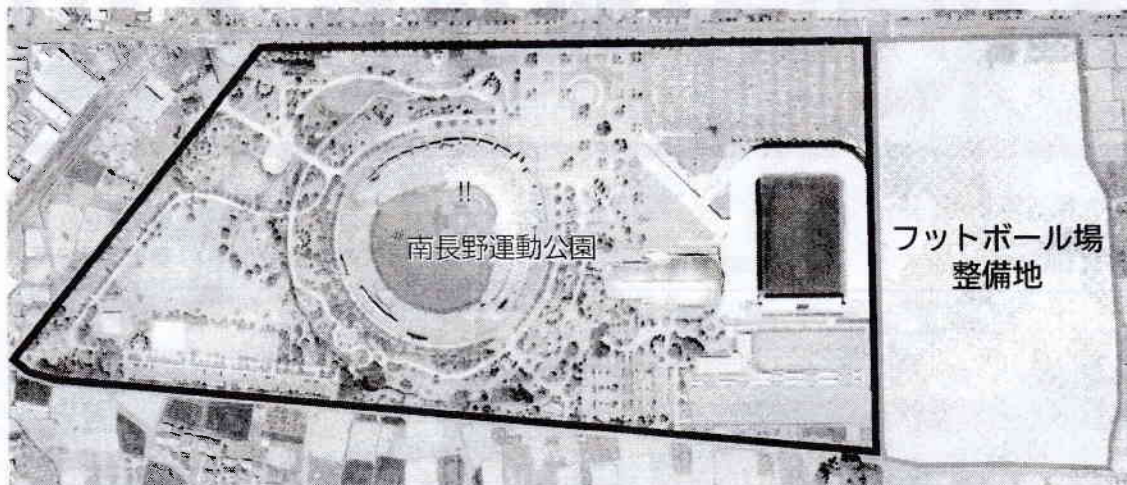
▲東福寺神社上空から見た善光寺平。手前がUスタジアム。その東側10haが候補地。Uスタジアムの手前南側の杜が東福寺神社。

▶東福寺神社は南長野運動公園開発で、すでに二つの末社を失っている



新年あけまして
おめでとーございませう

南長野運動公園 東側エリア



拡張して40haの都市公園運動場に

長野市は昨年5月公表。2028年に長野県で開催される第82回国民スポーツ大会および、第27回全国障害者スポーツ大会を迎えるにあたり、新たにフットボール場を整備することを発表。最適候補地として、南長野運動公園、長野Uスタジアム東側エリアを指定してきた。

計画では、新たにフットボール場3面（天然芝1面、人工芝2面）と、駐車場（約600台）を有する拡張になっている。



▲地味肥沃な東福寺の畑地では、野菜でも果樹でもよく育つ

がたびたび水害を受け、安定した競技環境が提供できないこと。照明など河川敷のため工作物の設置が不可

『また美田を失うのか？』

善光寺平でも最も地味肥沃な東福寺地区は、千曲川の洪水と闘いながら先祖たちが営々として農業地帯を築いてきた。今から30年前にオリンピックの閉会式会場構想が興り、そして買取されようとした予定地内に思いもかけぬ「南宮遺跡」が発見された。

その時、土地提供した地権者からは「南長野運動公園の完成によって

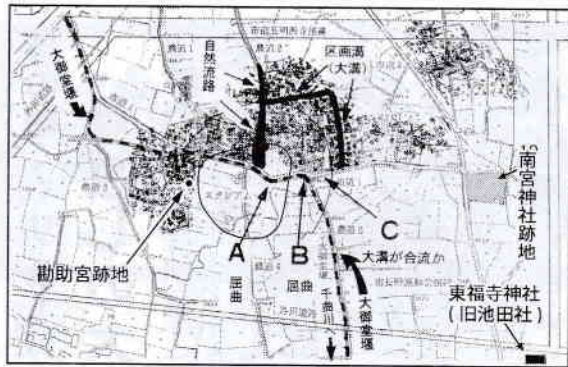
能などの条件下に置かれている。パルセイロのホームスタジアムにサブピッチを整えば、大規模大会や国際試合開催など積極的な誘致が可能で、誘客が見込めるという施設プランだ。

オリンピック開発で

発見された南宮遺跡

平成2年、南長野運動公園（32ha）用地の確定には、地元地権者と市当局とで激しいやり取りがあった。

東福寺地区と御厨地区の地権者が一体となって、当局に要望事項を突



▲オリスタ球場の下に千年前の遺跡が眠る。大集落があったことを認す出土品が多数

き付け、十数回の話し合いバトルの末、両者間で合意を見たという。野球場建設予定地を最優先して、南宮遺跡の発掘調査が始まった。発掘には3年の歳月を要した。

はたして平安時代末期、千年前の古代集落跡を証す、遺構やおびただしい数の出土品が出現したのだ。

千軒をこえる堅穴住居跡は、同時存在ではないが、一人人にもおよぶ人口集中集落が想定できる痕跡を証している。南宮遺跡は、突出した大きさの古代集落遺跡であることを知ってほしい。

これを知らずして、これを遺さずして、

東福寺の歴史は語れず。今後の東福寺の発展は無いものと思え！

この機会に区民が

考えなければならぬこと

東日本でも最大級といわれる平安時代末期の古代遺跡が、南長野運動公園の下に眠っていること。9世紀後半から11世紀前半、ここに一人人近い人が住み、文化水準の高い大集落があったこと。それを証す出土品が大量に遺っていること。

このことを多くの一般人に知らしめることに異を唱える人はいまい。そして、この地の氏神様・地主神は東福寺神社であって、さんざんに美田良田を手放す大きな犠牲を払ってきたこと。それゆえに、何らかの恩恵を授かっても罰は当たるまい。次の陳情を考えた。その要望は――

南宮遺跡の出土品展示館の建設とその遺跡顕彰活動の支援

考古学分野でもすごい遺跡と言われながら、その遺跡の全容や出土品の数々、見る機会も知る機会もほとんど無い。もう発掘（オリンピック開発）されてから30年も経っている。

南宮遺跡はまぎれもなく東福寺が持つ古代文化遺産であり、東福寺の地域活性に役立てない手はない！

「遺跡は、人や社会とのつながりが示されてこそ。遺構はもとより遺物（出土品）も現地や、現地に近いところに展示することにより真の意味が分かるもの」（改正文化財保護法より）。文化庁も地域創生のために活用しろと呼びかけている。

今回、東側エリアに新たな発掘も充分期待される。南宮遺跡が、東福寺の古代文化遺産であるがゆえに、一般に知らしめていく展示館が欲しいのだ。もう一つは――

運動公園建設により二つの神社（末社）が潰れた東福寺神社の顕彰活動の応援

東福寺神社は「国家神道」のもとで、各村々の神社が整理されていったなかで、村名ではあるが寺名を彷彿させる神社名が付与されているのは珍しいことだ。そして旧東福寺四社【南宮社（金

山彦）・池田社（建御名方）・鹿島社（武甕槌）・猿田彦社（猿田彦）】の神々にまつわるものに、南宮遺跡の特徴の一端が、脈々と伝わっていることが自明である。ゆえに、東福寺神社も南宮遺跡と合体で、顕彰研究を支援してもらいたいものだ。

地域との

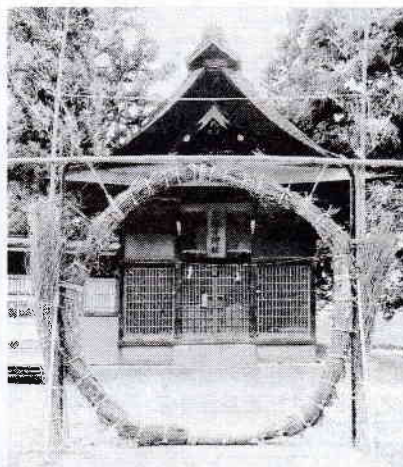
密着を考える時

今度のフットボール場整備事業は、南長野運動公園（都市公園）の機能を拡大させスポーツのメッカにふさわしい施設条件を整えていくことになる。いづれ長野パルセイロ軍団の本拠地となるだろう。

パルセイロだけでなく、野球、バスケットのアスリートたちばかりでなく、運動公園を利用するすべてのスポーツマンたちが、運動公園の成り立ちを知らずして、この地の風土習慣などを知らずして、「公園愛」や「地域愛」は育たないのではないかと思う。密着度を強める意味でも二つの要望事項は実現させていきたい。

茅の輪くぐり 30% 設置

「夏越しの大祓い」に大勢参拝



▲千曲川のススキを束ねて茅の輪を作る。夏は暑さで長持ちしない

れたのか分かりません。

ご利益があったかどうかどうかも分かりません。

7月9日、真夏の暑い中、総代が出動して茅の輪を撤去。心を鎮めて、賽銭箱を開けて驚いた。上がったお賽銭一万九千余円。たった十日間で！総代全員、はしたなくも

頬がゆるみました。

今年も区民の厄払いのために夏越しの大祓いは決行します。

お宮でハロウィン

宝探しで大にぎわい

待ちに待ったハロウィン。子ども



▶宝探しゲーム。「あった、あった」と持ち寄り、みんなで数えあげる



▲生い茂った木々の中を歩く園児たち

たちは魔女やお化けなど、手作り衣装を身に纏い、お宮の中庭で宝探しを楽しんだ。どんぐりアメの宝探し「どこだ。どこだ?」「ここかな?ちがう」。落ち葉の下や木の間に探します。友達同士、協力しながら探していくと、赤や紫色の紙に包まれたどんぐりアメを見つけた子どもたち。「見つけた!」「ここにもあったよ」と次々見つけ、全部のお宝を発見。園児の満面の笑顔がやたらにかわかった。お宮の自然の中で、ハロウィンを楽しみました。

子どもの遊び場

(東部保育園記)

鎮守の杜はいろんなことを授けてくれる

上がったお賽銭にびっくり

子どもさんもお年寄りも、青年たちも家族同伴で、何人参拝に来てく

上がったお賽銭にびっくり

子どもさんもお年寄りも、青年たちも家族同伴で、何人参拝に来てく

セブン-イレブン は近くて便利!

商品のご予約承ります

お気軽に

セブン-イレブン 篠ノ井さいなみ団地店

お問合せ下さい

☎ 026-299-5720 長野県長野市篠ノ井東福寺 1314-5